

図1 天塩川水系と基準点(誉平および真勲別)

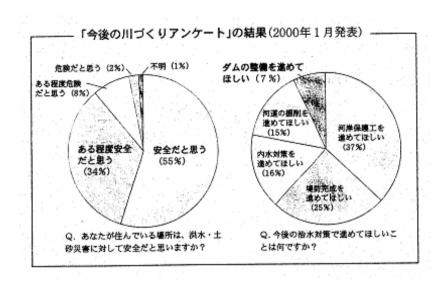


図2 北海道開発局が1998年に天塩川流域住民に行ったアンケート結果

表1 戦後最大の洪水 (S48、S50、S56) の実態-名寄川堤防は決壊していない

S48年8月洪水における、名寄市内の浸水状況(名寄川は氾濫していない)

S50年8月洪水時、名寄市内の国の管理する河川の区間において、破場(決壊)は確認していない(国交省)

河川名	支川名等	内水/外 水	河川名	支川名等	内水/外 水
ピヤシリ川		外水	内淵川		外水
名寄川	十線川	外水	報徳川		外水
知恵文川	西村川	外水	初茶志内川		外水
知恵文川	共和川	外水	豊栄川	無名川	内水
知恵文川	大和川	外水	豊栄川	15 線排水路	外水
知恵文川	智南川	外水	タヨロマ川		外水
知恵文川	無名川	外水	クマウシュナイ川		外水
有利里川		外水	風連別川	大沼川	外水
曙川		外水	風連別川	旭地区	内水

			1		
河川名	支川名等	内水/外水	河川名	支川名等	内水/外水
天塩川		外水	報徳川	報徳地区	内水
イオナイ川		外水	タヨロマ川		外水
豊栄川	旧豊栄川	内水	タヨロマ川	緑町排水路	内水
豊栄川	15 線排水 路	内水	東生川	桜の沢川	外水
報徳川		外水			

S56年8月洪水時、名寄市内の国の管理する河川の区間において、破堤(決壊)は確認していない。 「名寄市街地 外水」の場所については、国の管理する河川からの浸水ではない(国交省)

河川名	支川名等	内水/外水	河川名	支川名等	内水/外水
イオナイ川		内水	8線川		内水
有利里川		内水	福徳川·報徳川		内水
有利里川		内水	名寄川	平和川	内水
有利里川		内水	タヨロマ川		内水
有利里川		内水	風連別川	忠烈布川	外水
名寄川	十線川	外水	風連別川	長根川	外水
知恵文川		内水	風連別川		外水
朝日川		外水	風連別川	大沼川	外水
名寄川	拓文川・ラカン 川	外水	タヨロマ川	クラヌマ川	外水
天塩川	智北排水路	内水	風連別川	桜の沢川	外水
名寄川	徳田排水路	内水	名寄市街地		内水
内淵川		内水	名寄市街地		外水

表 2 天塩川水系河川整備計画の目標流量と最大観測流量

		目	標流量 (m3/和	少)		E 最大観測流量 の観測年
		A 岩尾内ダ ム、サンルダム がない場合	B 岩尾内ダム のみの場合	C 岩尾内ダ ム、サンルダム がある場合	D 最大観測流量 (m3/秒)	
名寄川	真勲別	1,500	1,500	1,200	1,115	1973年
天塩川	名寄大橋	2,000	1,800	1,800	1,889	1981年
	美深橋	(4,000)	3,800	3,500	2,719	1981年
	誉平	4,400	4,200	3,900	3,758	1981年
	天塩大橋	(4,500)	4,300	4,000	3,385	1981年

- 〔注1〕美深橋と天塩大橋のAの値は北海道開発局から聞き取った数字である。
- 〔注2〕最大観測流量の観測年は岩尾内ダム(1970年完成)後であるから、Dとの比較対象はBの数字である。

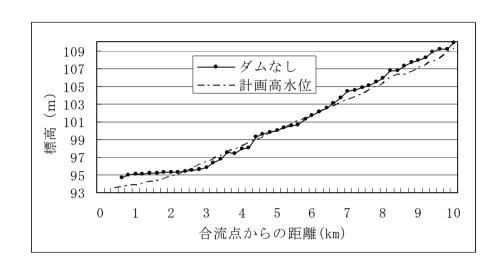


図3 サンルダムがない場合の名寄川の天塩川との合流点から上流の目標流量水位

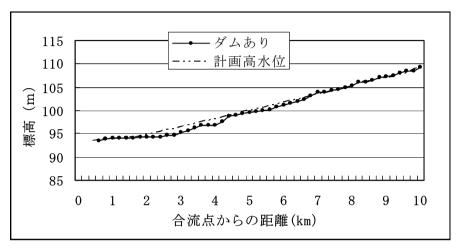


図4 サンルダムがある場合の名寄川の天塩川との合流点から上流の目標流量水位

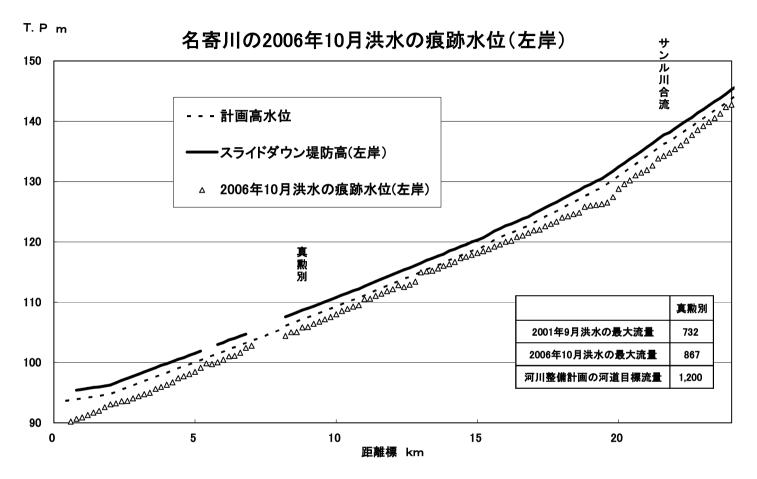


図 5 名寄川の天塩川合流点(距離標 0km)から上流左岸の、スライドダウン堤防高、計画高水位および 2006 年の最高水位(痕跡水位) (北海道開発局資料より作成)。名寄川では、1981 年以降の最大の洪水は 2006 年 10 月であった。

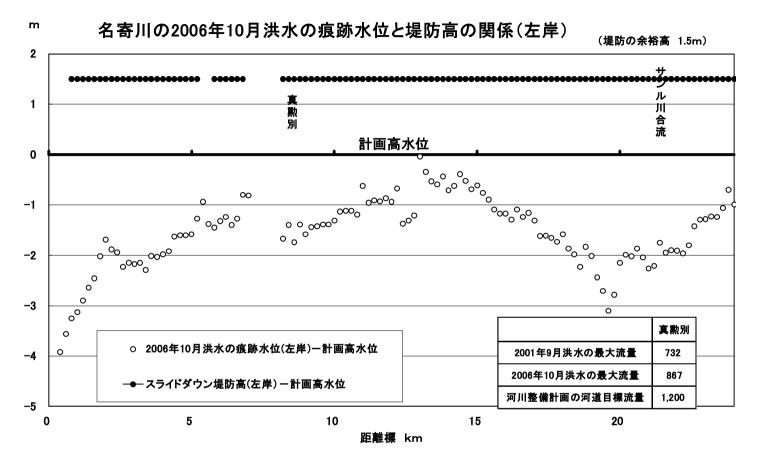


図 6 名寄川の計画高水位を基準とした、スライドダウン堤防高(左岸)と、2006年10月洪水痕跡水位(左岸)

名寄川の流下能力図(北海道開発局の計算)

流下能力が不足しているところの河道整備をなぜ早く進めないのか、必要性の希薄なサンルダムよりも、その河道整備に力を注ぐべきである。



図 7 名寄川の流下能力と目標流量(サンルダムがない場合:1,500m³/s、サンルダムがある場合:1,200m³/s)

浸透による堤防の安全性が基準を下回る区間(名寄川)

名寄川にも洪水の水位上昇時に浸透による破堤の危険性のある堤防がある。

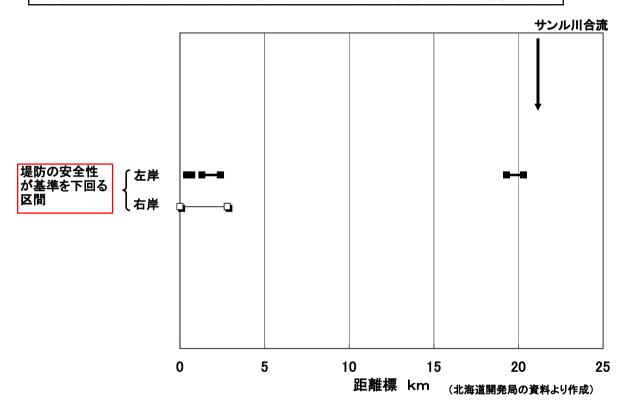


図8 名寄川における浸透による堤防の安全性が基準を下回る区間

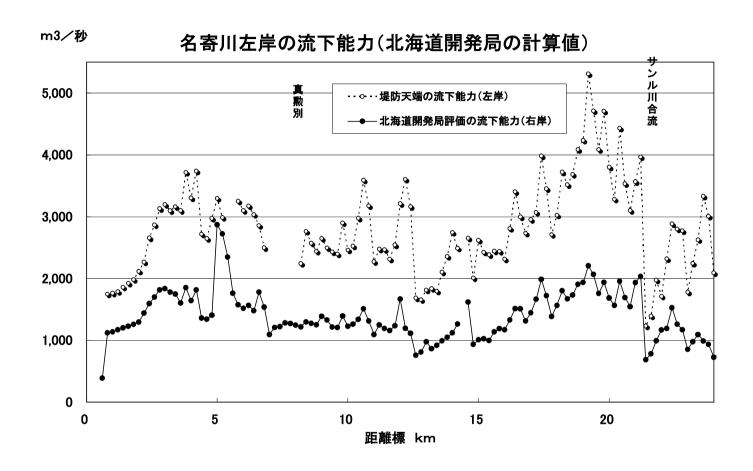


図 9 名寄川の堤防が耐越水堤防になった場合の予測された名寄川の流下能力

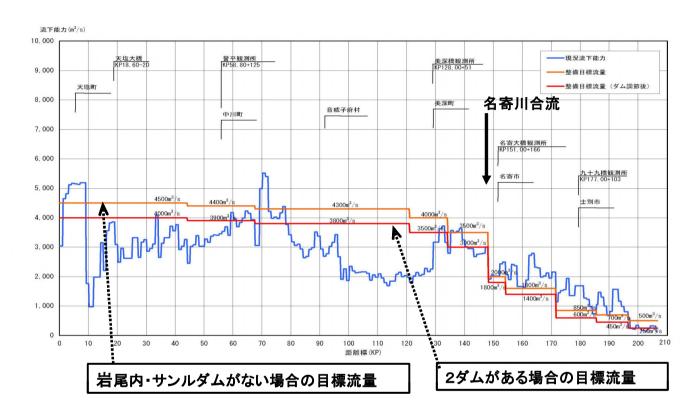


図 10 天塩川の名寄川合流点下流の流下能力と目標流量(岩尾内ダム・サンルダムがない場合: $4,000\sim4,500$ m³/s、両ダムがある場合: $3,000\sim4,500$ m³/s)

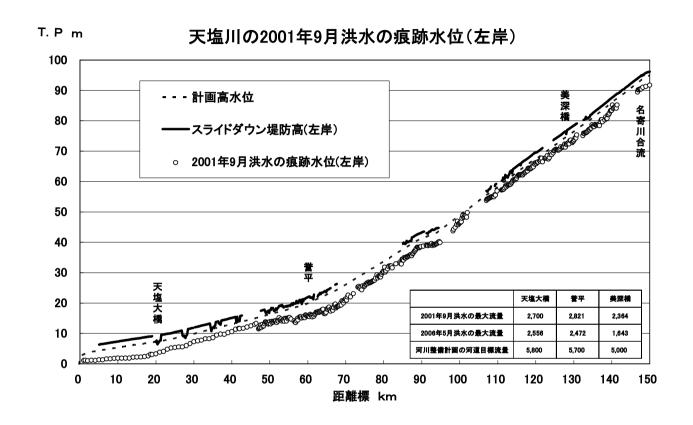


図 11 天塩川の名寄川合流点より下流左岸の計画高水位、スライドダウン堤防高および 2001 年 9 月洪水の痕跡水位

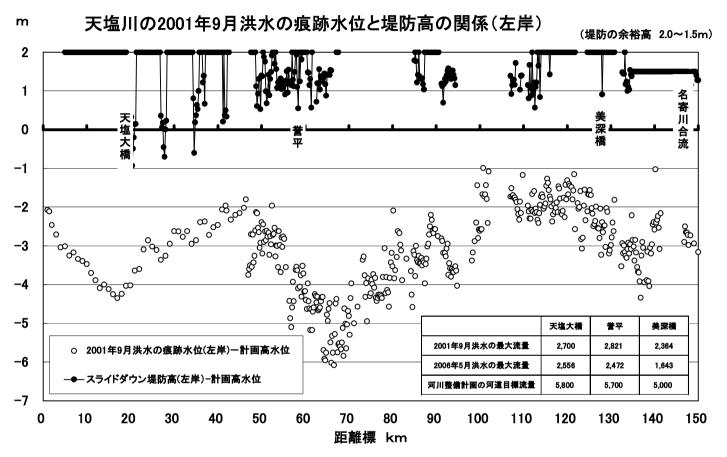


図 12 天塩川の名寄川合流点下流(左岸)の計画高水位を基準としたスライドダウン堤防高と 2001 年 9 月の洪水痕跡

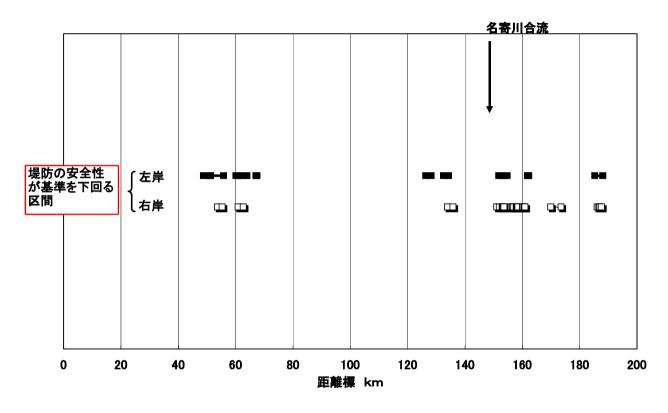


図13 天塩川の浸透による堤防の安全性が基準を下回る区間



図 14 1981 年の当別町の浸水区域 (黒い区域): 当別川流域の浸水はその一部

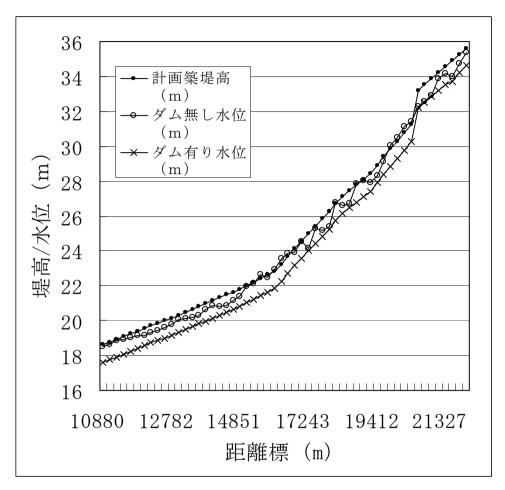


図 15 当別川の 10km より上流の堤防高、目標流量時のダム無しとダムありの水位

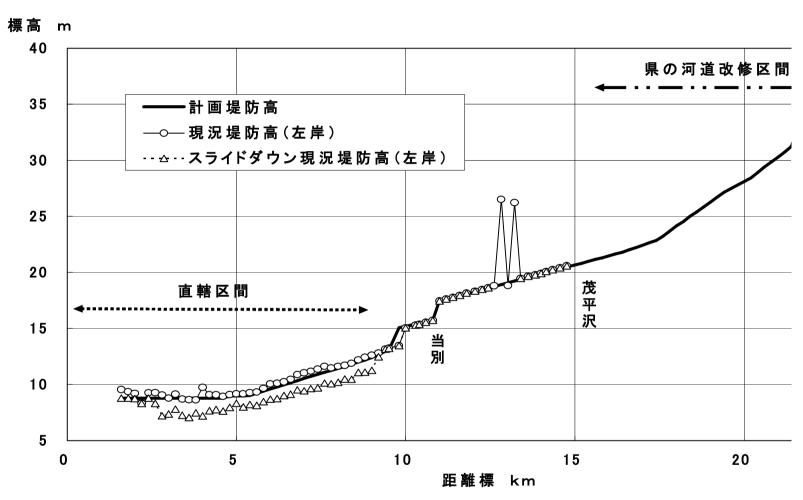


図 16 当別川の現況堤防高とスライドダウン堤防高(左岸)(北海道空知総合振興局の資料より作成)

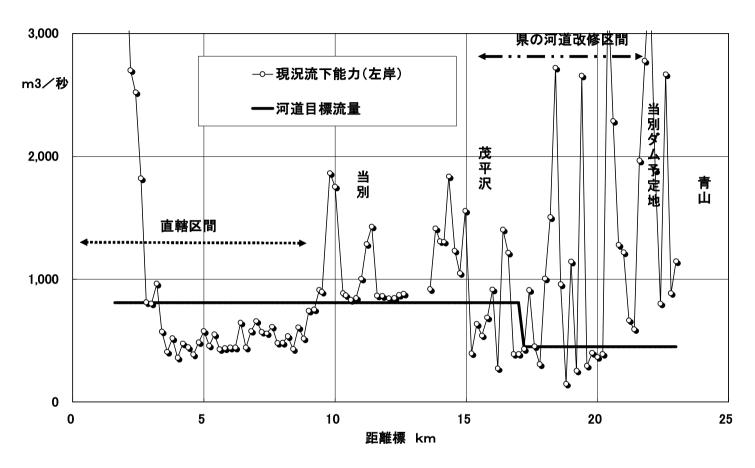


図 17 当別川の現行流下能力(左岸)(北海道の計算)

維持管理・更新投資の見通し

□維持管理費 ■更新費 □災害復旧費 □新設(充当可能)費

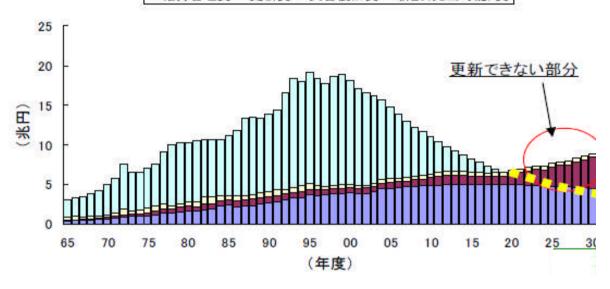


図 18 維持管理・更新投資の見通し(国:対前年比マイナス 3%、地方:対前年比マイナス 7%で計算、国交省の資料、2005・10・14 より)